

無政府主義図書館 (Japanese)

世界中の内戦に対し、世界中で社会革命を！

CNT-AITフランス

CNT-AITフランス
世界中の内戦に対し、世界中で社会革命を！
2021年

https://note.com/bakuto_morikawa/n/na69e754bbb2a (2023年6月17日検索)

ja.theanarchistlibrary.org

2021年

2021年5月12日、ガザの民間人が残虐な軍事攻撃を受けた。イスラエルでは耐え難いほどのリンチ殺人も行われており、私達はその光景を目の当たりにしている。

権力による人間性に対する犯罪によって民間人・女性・子供たちが虐殺されるのは、これが歴史上初めてではないし、ガザが世界で唯一の場所というわけでもない。現在起こっていることの例を挙げよう：

- 公式の統計（FAO、国連食糧農業機関）によれば、世界で毎日2万5千人が餓死しており、その内1万人は子供たちである！
- コロンビアでは、4月28日以来、軍・警察・民兵団が社会的不正に対して叛乱を起こしている人々を暗殺し、何の罰も受けていない。
- あらゆる「民主的国家」が見捨てたシリア北部のロジャヴァで、革命家達が、トルコ軍と大量殺戮を繰り返すイスラム原理主義者と共に単独で立ち向かっている。
- イエメン、新疆ウイグル自治区、ビルマ、シリア、ベネズエラで、何百万もの民衆が強制退去させられたり、拷問されたり、虐殺されたりしているが、ほとんど知られていない。

こうした蛮行全てを永続させているのが国家と政治家である。国家も政治家も私達の苦しみから利益を得ている資本主義システムを支持しているのである。

ガザ地区で爆撃を受けた被害者との連帯を表明する大規模な運動は、権力が利用するあらゆるイデオロギー、つまりナショナリズムと宗教こそがこの殺人論理の支柱になっていることを忘れてはならない。この論理が人々を互いに殺しあうようにさせ、世界の指導者に利益をもたらしているのである。

香港からスーダンやアルジェリア、チリからフランスのイエローベストまで、民衆叛乱は世界を揺るがし、殺人的社会システムに対する世界規模の闘争に拡大している。現在のガザ住民との連帯は、こうした全ての民衆叛乱と共にあると表明すべきである。そうすることで、私達の連帯はより強く、より手ごわいものになるだろう。

ガザでも他の場所でも虐殺を防ぐことは、国や国境のない世界を求めて戦うことである。だからこそ、戦争に反対し、IDF（イスラエル国防軍）の制服着用を拒否しているイスラエルの友人達に私達は敬意を表す。私達は、腐りきった国家に対して見事な闘争を主導してい

るコロンビアの同志達に敬意を表す。私達は、大量虐殺という蛮行と戦っているロジャヴァの友人達に敬意を表す。そして、もっと広く言えば、様々な場所で、いかなる譲歩もせずに平和と自由を擁護し、友愛を持って集まり、国境を超えて団結している人々皆に敬意を表するのである。

あらゆる軍隊を打倒しよう、あらゆる国家を打倒しよう！
ボゴタでもガザでも、権力は変わらない、闘争も変わらない。
権力は人殺しだ！

CNT-AITフランスの活動家有志